

【添付資料①】 《「おいしい!広島県×おいしい!中国道」山陽道渋滞回避電子スタンプラリー》

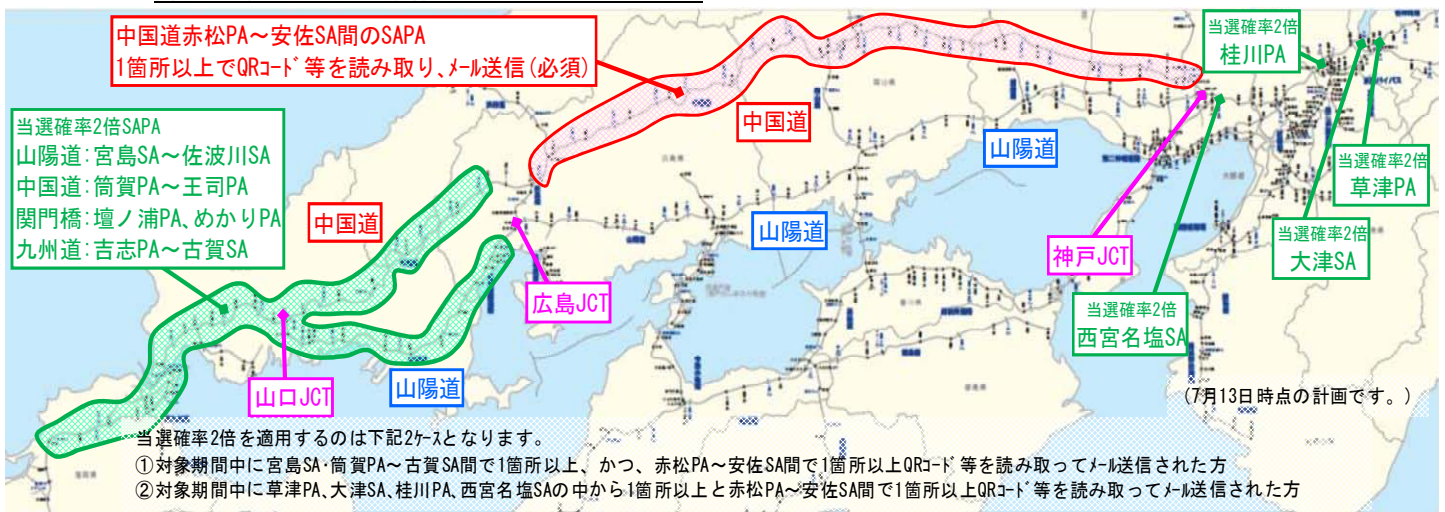
山陽道の交通を中国道に分散させ、山陽道の渋滞を緩和させることを目的に、8月10日(金曜)～17日(金曜)までの8日間限定で「おいしい!広島県×おいしい!中国道」山陽道渋滞回避電子スタンプラリーを実施します。

この電子スタンプラリーは、広島県様が3月から開始した新たな観光プロモーション「おいしい!広島県」の趣旨「魅力的な観光資源があるのに全国の人に知られていない。実に、おいしい!」を酌んで、広島県内を約140kmにわたって通過する中国道の魅力を「おいしい!中国道」としてお伝えし、興味を持って中国道を選択頂くことで、結果的に山陽道の渋滞を緩和させるものです。

電子スタンプラリーへは、中国道赤松PA(兵庫県)から安佐SA(広島県)までのSAPAに1箇所以上立寄って頂き、トイレ前等に掲示しております「QRコード」等を携帯電話やスマートフォン等で読み取り後、SAPAごとに設定したキーワードをメール送信、走行終了後のアンケートへの回答をもって「参加」となります。

参加された方のうち有効回答を頂いた方の中から抽選で100名様に5,000円分の商品券を進呈させていただきます。なお、赤松PA～安佐SA間のQRコードとは別に、指定したSAPAのQRコード等を読み取ってメールを送信された場合は商品券の当選確率を2倍とさせていただきます。(下図参照)

詳しくは、8月上旬に開設します専用ウェブサイトをご覧ください。



電子スタンプラリー参加イメージ (広島ICから京都南ICまで走行の場合の一例)

①広島ICから広島道、中国道を利用し、七塚原SAでトイレ休憩

②トイレ前等に掲示しておりますQRコード等を読み取り、SAPAごとのキーワードを入力し、メール送信



③京都南までの数箇所のSAPAで②を繰り返す

④目的地到着後、アンケートへ回答して終了

おいしい! 広島県

おいしいは、おいしいの、一歩手前。

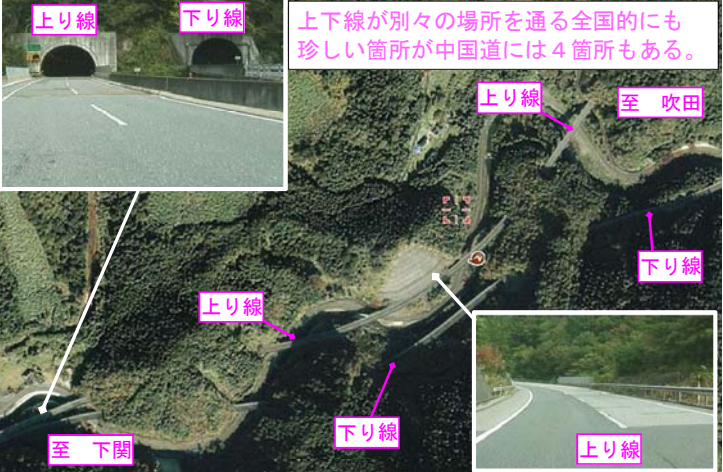
×

おいしい! 中国道

山陽道渋滞回避
電子スタンプラリー

「おいしい!中国道」(全国の高速道路の中でも珍しいものがあるが、あまり知られていないもの)の一例

- ・上下線が別々の場所を通る区間が4箇所もある。
- ・約20km連続して規制速度が60km/hの区間がある。
- ・カーブ半径200mが連続する箇所がある。
- ・スカイツリーよりも高い標高700mを超える箇所がある。



《経路選択等に関するお役立ち情報》

【山陽自動車道・中国自動車道】

8月15日(水曜)は、山口 JCT(山口県)から吹田 JCT(大阪府)まで山陽道経由の場合、午後から深夜を中心に、関戸 TN 付近(山口県岩国市)、備前 IC 付近(岡山県備前市)、宝塚西 TN 付近(兵庫県宝塚市)、中国豊中 IC 付近(大阪府豊中市)を先頭にそれぞれピーク時に 10km から 20km の交通集中渋滞を予測しており、各渋滞を通過するのにピーク時は 30 分から 1 時間 20 分程かかると見込んでおります。これらの他に、志和 TN 付近(広島市安佐北区)や二子 TN 付近(岡山県倉敷市)等 5 箇所までピーク時 5km の交通集中渋滞を予測しております。

山口 JCT または広島 JCT から吹田 JCT まで中国道経由の場合、吉川 JCT(兵庫県三木市)までピーク時 5km 以上の交通集中渋滞が発生しないと予測しております。

なお、中国道経由の場合、約 150 km 先まで給油できない箇所がありますので、燃料切れには十分ご注意ください。(最長給油所間距離 中国道経由:美東 SA~安佐 SA 間 148 km,山陽道経由:吉備 SA~龍野西 SA 間 65 km) 詳しくは、(<http://www.w-holdings.co.jp/gasoline/240601west.pdf>)をご覧ください。

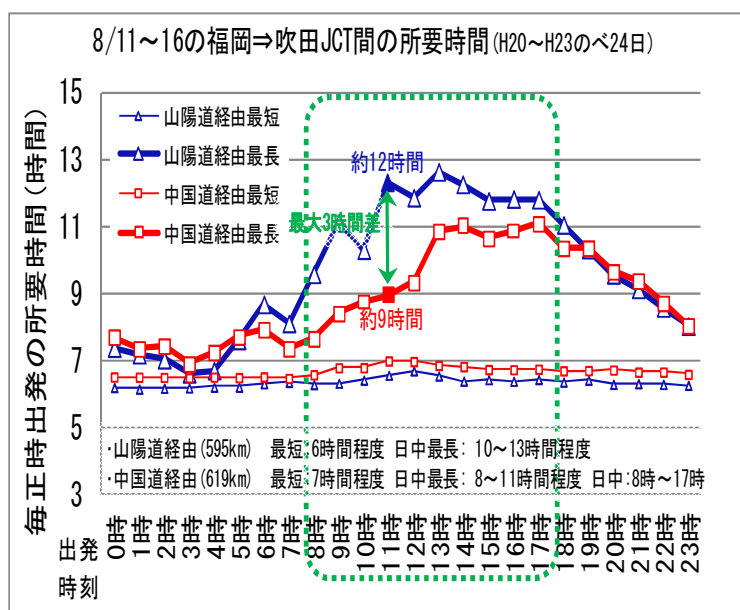
(8月15日(水曜)に山陽道と中国道の上り線(山口から大阪方向)で予測しているピーク時 5km 以上の渋滞)



過去のお盆期間(平成 20 年~23 年の 8 月 11 日~16 日のべ 24 日間)の実績では、福岡 IC(福岡県)を出発し、山口 JCT から山陽道経由で吹田 JCT(大阪府)まで走行(595km)した場合、順調時は 6 時間程度で到着できていましたが、事故等による渋滞の影響を受けた時は最長で 13 時間程度かかりました。

一方、同一区間を同時刻に出発し、山口 JCT から中国道経由で走行(619km)した場合、順調時は 7 時間程度と山陽道経由より 1 時間程度長くかかりましたが、兵庫県内以外ではほとんど渋滞の影響を受けないため、最長でも 8 時間から 11 時間程度で到着できており、山陽道経由より最大で 3 時間程度早く到着

(11 時出発の場合)できていました。

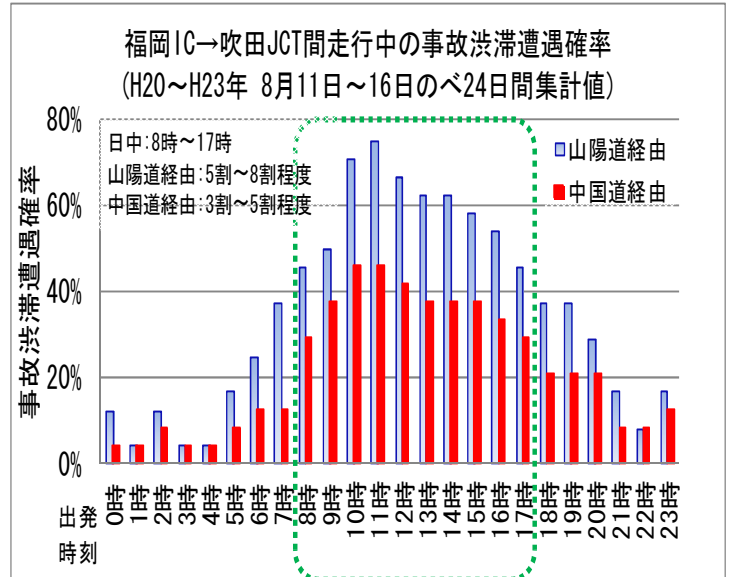


所要時間は車両感知器データを基に算出した値で事故等の影響を含みます。

また、同期間(過去4ヵ年のお盆)に福岡ICから吹田JCT間を走行する間に事故渋滞に遭遇した確率を山口JCTから山陽道経由で走行した場合と中国道経由で走行した場合とで比較したところ、日中時間帯(8時から17時まで)に出発した場合、山陽道経由では概ね5割~8割でしたが、中国道経由では3割~5割程度でした。

中国道経由は山陽道経由に比べて、事故渋滞に巻き込まれる確率が低いですので、経路選択の参考にしてください。

なお、**実際に経路選択される際には「アイハイウェイ(<http://ihighway.jp>)」で各経路の最新の交通情報をご確認ください。**



事故渋滞遭遇確率とは、指定した区間を走行中に事故渋滞に巻き込まれた確率のことと定義し、過去の渋滞実績データ等から計算したものです。

《広島ICから広島空港へ向かわれる方へ》

山陽道で広島ICから広島空港最寄りの河内ICまで(39km)走行した場合、過去の交通混雑期間(平成21年~23年のゴールデンウィーク(GW)とお盆の合計15日間)の実績では**順調時30分程度**で到着できていましたが、**10km程度の渋滞が発生した場合は最大1時間程度**かかりました。なお、**20kmを超える事故渋滞に巻き込まれた場合は、最大で2時間半程度**かかりました。

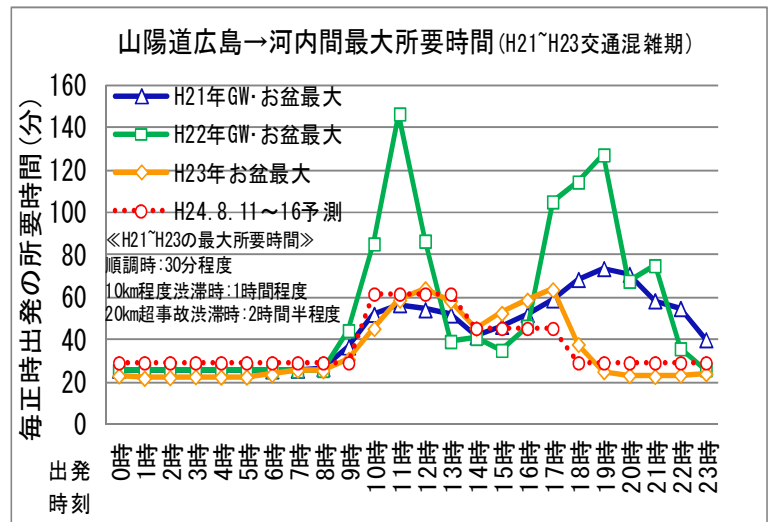
お盆期間は8月11日、12日、14日、15日の午前中から夕方にピーク時5km~10kmの交通集中渋滞を予測していますので、最大1時間程度かかるものと見込んでおります。

同期間(過去3ヵ年の交通混雑期間)の午前(9時~12時)と夕方(16時~20時)に広島ICを出発した場合に事故渋滞に遭遇した確率は1割から3割程度であり、マイカーやリムジンバス等で移動される際は、**搭乗予定の便に乗り遅れないためにも相当の時間的余裕を持たれることをおすすめします。**

なお、広島駅から鉄道と連絡バスで広島空港まで向かわれる場合の所要時間は約1時間程度**(乗り継ぎ時間は含まず)**です。

詳しくは広島空港のウェブサイト

(<http://www.hij.airport.jp/access/route/jr.html>)をご覧ください。



所要時間は車両感知器データを基に算出した値で事故等の影響を含みます。

